

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>  
21・4・11(日)  
南NEWS no 7

## 5年生のサッカー

4月4日(日)は5・6年生のゲームを観ました。ゲームの前の練習では、渡り廊下でのサイドバックからのビルドアップ・ワンツートの崩し、バイタルエリア中央からのワンツードンの第3の動きからのシュートの練習をしました。

その後の振り返りのゲームです。6年生は一人だけだったので実質5年生の紅白戦になりました。両チーム合わせて10回近いワンツートの崩しが観られたのです。渡り廊下は勿論、バイタルエリア中央、ペナの中でもワンツー突破のチャレンジをしていました。

ゲームの後、そのことを称揚し、「落とせ」の声でバックパスからサイドチェンジが課題だよ」

と伝えました。ショウマ君のキンタダンスのようにみんなのドリブルのレベルアップがあれば、さらに強いチームになります。5つ観て判断・コーチングができればすごいチームに！！

b y 南の安版万



## 国連子どもの権利条約 (1989年採択)

31条には、①休息・余暇の権利、②遊び・レクリエーションの権利、③文化的・生活・芸術への参加の権利という3つのレベルの権利が規定されています。この相互に関連する3つの権利を総合して《子どもの文化権》としてとらえ直すことが重要だと考えています

「子どものしあわせ」9月号より転載 増山均

現在の日本の子どもの現状は、子どもの権利条約第31条に抵触していると国連から勧告されています。灰谷さんも31年間前に同じ指摘をしています。水上勉さんとの往復書簡のなかで語っています。

## 『いのちの小さな声を聴け』 水上勉 灰谷健次郎著 新潮社

p159~160 ( )内は矢上付記

……かつて林竹二先生(元宮城教育大学大学長)は教育の成り立ちにふれて、生命への畏敬のないところに教育は存在しないといわれました。

このことは教育にたずさわる人間に向けて発せられた言葉のように聞こえますが、実はすべての人間の思考と行動に向けて発せられた深遠な警告であり、人間が人間でありうる場所の普遍的な哲学です。

政治権力を握る人、企業の上に君臨する人の生命哲学は、それをもって身を切るほどの峻烈な自己吟味が要求されるはずでありましょうが。

中国のようなこと(天安門事件)が起こらなくて良かったと多くの日本人はいますが、自然破壊と公害による我が国の生命抹殺は、まことにひどい修羅場をつくっていることに人々は思いをいたすべきでしょう。

戦車で人間を踏みつぶす行為は誰もが避難しますが、緩慢な虐殺に人々は目をつぶがちです。

たとえば教育公害という言葉でもっていえば、そのために心身を傷つけられ、生命さえ奪われる幼い、あるいは若い人々のなんと多いことでしょうか。

苦闘の日々は、わたしたちの上にもあるのです。

水上さん。こうして再びお便りできることを満身の震えと喜びをもって、まずは感謝しなくてはならないと思います。……

## むさしのリーグ 今年度の活動

むさしのリーグとは都内の12チームでなる創立46年目を迎えるリーグです。東京都代表として全日本大会に代表を送ること8回を数えるリーグです。

かつては澤穂希選手も在籍し、工学院大学のグラウンドでのむさしのリーグで対戦したこともあります。0-2で南が敗れました。おかつばで真っ黒な顔の女の子でした。中村憲剛選手もそうです。小学校時代は小さい体でしたがドリブルの名手でした。楽しそうにプレーしていたのを思い出します。

南は3期生の79年度全日本予選都大会での試合が評価され、80年度にむさしのリーグへの正式加盟を許されました。

4月9日(金)は、そのむさしのリーグの会議が19:00~府中でありました。今年度の活動について話し合い決定しました。家に帰ってきたのは21:30過ぎでした。

尾瀬花咲村むさしの招待は中止になり、招待チーム無しで6年生の試合を8月に都内で行うことになりました。3年生から5年生の各学年も2ブロックに分けてリーグ戦を行うことになりました。今年は宿泊の大会は無しです。

○3年生 9月~10月 2ブロックのリーグ戦

○4年生 11月~12月 2ブロックのリーグ戦

○5年生 1月~3月 2ブロックのリーグ戦

○6年生 8月 2ブロックのリーグ戦

会場は全て都内です。

矢上は5年生の担当になりました。

これから各チームに学校行事等のアンケートを取ってから試合予定・時程を作っていきます。

よろしく願いいたします。



## 知り合いのお子さん 近所のお子さんに声をかけてください！！

今日のむさしのリーグ会議で、冒頭、大和北が子どもが減ったことを理由にリーグを脱退する旨の挨拶をして帰っていきました。東京都で3位に入賞したことがあるチームです。本当に寂しいです。

南も今4年生が0。2年生が2人です。どの学年も仲間の人数を増やしてほしいです。お子さんが卒園した保育園や幼稚園にもパンフレットを配ってくださる方はいらっしゃいませんか。是非、お願いいたします。1枚でも2枚でも配ってくださる方はコーチに連絡願います。

## 家庭は養育。学校は教育。地域は遊育。

南は地域でサッカーという群れて遊ぶスポーツを通して子育てのお手伝いをしているクラブです。大人もできる範囲で無理なく子ども達と共にサッカーを楽しむことを大切にしています。

友に優しく、やり抜く強さを持つ子が育つ素敵な南の創造をめざしています。仲間を増やすためにお力を貸してください。 b y 南の安版万

